

歯科衛生学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	開講科目
1年	17	解剖学
1年	18~19	生理学
1年	24	歯牙解剖学
1年	44~45	保健指導演習Ⅰ(臨床基礎)
1年	46~48	歯科診療補助法(基礎知識)
2年	63	保健統計学
2年	65~66	地域保健
2年	76	小児歯科学
2年	80	歯科放射線学
2年	82~84	歯周病予防法(臨床基礎)
2年	96~97	臨地実習指導(臨床応用)
3年	105	スポーツレクリエーション
3年	106	一般臨床医学
3年	110~111	歯周病予防法(臨床応用)
3年	112~114	保健指導演習Ⅲ(臨床総合)
3年	115	口腔リハビリテーション演習
3年	127	歯科衛生研究法Ⅰ(臨床基礎)
3年	128	歯科衛生研究法Ⅱ(臨床応用)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-01				
	●									
科目名	解剖学				単位認定者	鈴木 裕一		試験（筆記）	20 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題 (小テスト)	60 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	解剖学では主に人体の形・構造とその成り立ちを追求する。これは全身の健康や病気を理解する上でその初めとなる重要なステップとなる。本科目では、人体の正常な形・構造を体系的に理解する。また、全身の構造について口腔内の構造との対比の中で理解していく。									
到達目標	解剖学の種類や分類について学び人体の正常な形態と構造について理解する。また、人体を構成する各器官の位置形態および構造を修得し、各系統ごとに整理して理解する。									
学修者への期待等	人体の構造に関する知識は、すべての医学分野の学修において欠く事のできないものといえる。日々の授業の中で十分な理解と共に修得に努めてほしい。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	総論（解剖学の意義・用語） レポートの書き方				事前学修：教科書1～10ページを読んでおくこと。 (概ね20分)				20	0
2	骨格系①（骨の構造、形態、連結、発生）				事前学修：教科書46～54ページを読んでおくこと。 (概ね20分)				20	0
3	骨格系②（各論）				事前学修：教科書56～63ページを読んでおくこと。 (概ね20分)				20	0
4	筋と運動①（筋の形状・分類、構造と機能）				事前学修：教科書64～70ページを読んでおくこと。 (概ね20分)				20	0
5	筋と運動②（頭部、頸部、背部）				事前学修教科書70～74ページを読んでおくこと。 (概ね20分)				20	0
6	筋と運動③（胸部、腹部、上肢、下肢）				事前学修教科書74～80ページを読んでおくこと。 (概ね20分) 次回の授業時、より理解を深めるために骨格系・筋系の領域について小テストを行う予定。（事前に概ね2時間の学修が必要）				20	120
7	消化器の構造①（上部消化管）				事前学修教科書84～90ページを読んでおくこと。 (概ね30分)＋小テスト				30	0
8	消化器の構造②（下部消化管）				事前学修教科書91～94ページを読んでおくこと。 (概ね20分)				20	0
9	消化器の構造③（肝臓、胆嚢、膵臓）				事前学修教科書94～97ページを読んでおくこと。 (概ね20分)。より理解を深めるために消化器系に関するレポート課題を出す。（図書室、情報処理室で概ね2時間必要となる課題）。				20	120
10	神経系				事前学修教科書179～203ページを読んでおくこと。 (概ね30分)				30	0
11	循環系①（心臓、動脈系）				事前学修教科書121～143ページを読んでおくこと。 (概ね20分)				20	0
12	循環系②（静脈系、リンパ系）				事前学修教科書143～154ページを読んでおくこと。 (概ね20分)				20	0
13	呼吸器系				事前学修教科書213～222ページを読んでおくこと。 (概ね20分)				20	0
14	泌尿器系				事前学修教科書234～238ページを読んでおくこと。 (概ね20分)				20	0
15	生殖器系				事前学修教科書259～263ページを読んでおくこと。 (概ね20分)				30	0
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）									
教科書	『歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献	適宜、参考資料を配付する。									
備考	小テストは回収後、採点し、次回総括する。授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-02				
	●									
科目名	生理学				単位認定者	鈴木 裕一		試験（筆記）	20 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題 (小テスト)	60 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	ヒトの身体は様々な器官や組織から構成されている。これら器官・組織がどのような働きをしているか、また、その働きがどのような仕組みで行われるかを学修するのが生理学である。その仕組みを理解することで、様々な病気の仕組みも理解することが容易になる。									
到達目標	どのようにして生体は一定の状態を保とうとするのか（ホメオスタシス）について、神経系と内分泌系の両面から理解する。									
学修者への期待等	人間の体はさまざまな細胞や臓器からできており、それらが協力して働いている。まずは、全体を大きく把握することからはじめてほしい。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	生理学概論				事前学修：教科書9～10ページを読んでおくこと。			15	0	
2	細胞の構造と基本機能				事前学修：教科書14～20ページを読んでおくこと。			20	0	
3	血液①（成分と機能）				事前学修：教科書112～117ページを読んでおくこと。			20	0	
4	血液②（血液凝固、血液型）				事前学修：教科書118～122ページ読んでおくこと。 次回の授業時、細胞・血液に関する小テストを行う予定。（2時間程度の事前学修が必要）			20	120	
5	循環器系（心臓の働き、心電図、血管の機能）				事前学修：小テスト（細胞、血液）実施予定。 教科書127～139ページを読んでおくこと。			20	0	
6	呼吸器系（呼吸運動、肺気量、呼吸の調節）				事前学修：教科書222～232ページを読んでおくこと。			20	0	
7	筋系（筋の収縮と微細構造、筋電図）				事前学修：教科書65～69、80～83ページを読んでおくこと。			20	0	
8	神経系①（基本機能、中枢神経）				事前学修：教科書183～184、191～193ページを読んでおくこと。			20	0	
9	神経系②（末梢神経、自律神経）				事前学修：教科書204～232ページを読んでおくこと。			20	0	
10	感覚系（感覚の性質と種類、体性感覚、感覚情報の伝達）				事前学修：より理解を深めるために神経-感覚器系に関するレポート課題を出す。（図書室、情報処理室で概ね2時間必要となる課題）なお、提出はUNIPAによる電子投稿を予定している。			30	120	
11	消化と吸収				事前学修：教科書97～105ページを読んでおくこと。			20	0	
12	排泄（排便・排尿）、体温				事前学修：教科書106～108、238～243ページを読んでおくこと。			20	0	
13	内分泌系①（脳下垂体、甲状腺、上皮小体）				事前学修：教科書246～251ページを読んでおくこと。			20	0	
14	内分泌系②（膵、副腎、精巣、卵巣）				事前学修：教科書251～256ページを読んでおくこと。			20	0	
15	生殖（性周期、受精と妊娠）				事前学修：教科書259～268ページを読んでおくこと。			20	0	

アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）
教科書	『歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社
参考文献	適宜、参考資料を配付する。
備考	小テスト・レポート課題は回収後、採点し、次回総括する。講義の進行具合によっては、シラバスの授業計画は前後することもある。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-06				
	●									
科目名	歯牙解剖学				単位認定者	山口 恵 佐々木 聡		小テスト	20 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題 (歯牙鑑別)	30 %
						授業時間数	20 時間		授業内課題 (デッサン)	50 %
				授業形態	講義	授業回数	10 回			
授業の概要	ヒトの歯の形態、歯の発生、歯の組織を理解し、歯そのものの歯冠及び歯根形態を学ぶ。また、歯周組織との関連を理解する。スケッチ描画等を通して乳歯、永久歯の各歯牙の形態、機能の特徴を明確に把握する。									
到達目標	歯科医療に従事する者として、その最も基礎的な知識であるヒトの歯の表示法や記号、歯種鑑別、歯列と咬合との関連性、歯種別の歯の形態そして歯の形態異常を学ぶ。またスケッチ描画を通して歯そのものの歯冠及び歯根形態を学ぶ。									
学修者への期待等	覚えるべき専門用語が多いので、必ず事前に教科書を熟読し、質問事項を用意して授業に挑む。授業後は復習を行うこと。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	歯の概論① (歯の機能、歯の種類と名称、歯式)				事前学修：Ⅱ編1章の歯の形態のうち、該当するページの歯の機能、歯の形態、歯の種類と数、歯の表示法についてあらかじめ読んでおくこと。		30	0	山口 恵	
2	歯の概論② (歯の形態、歯の各部名称、根管の形態)				事前学修：Ⅱ編1章の歯の形態のうち、該当するページの歯の機能、歯の形態、歯の種類と数、歯の表示法についてあらかじめ読んでおくこと。		30	0	山口 恵	
3	永久歯の形態的特徴 (中切歯、側切歯、犬歯)				事前学修：Ⅱ編1章の歯の形態のうち、該当するページの歯の機能、歯の形態、歯の種類と数、歯の表示法についてあらかじめ読んでおくこと。		30	0	山口 恵	
4	永久歯の形態的特徴 (小白歯、大臼歯)				事前学修：Ⅱ編1章の歯の形態のうち、該当するページの歯の機能、歯の形態、歯の種類と数、歯の表示法についてあらかじめ読んでおくこと。		30	0	山口 恵	
5	乳歯の形態的特徴、特色のある歯の形態				事前学修：Ⅱ編1章の歯の形態のうち、該当するページの歯の機能、歯の形態、歯の種類と数、歯の表示法についてあらかじめ読んでおくこと。		30	0	山口 恵	
6	(歯牙デッサン演習) 右側上顎中切歯のデッサン				事前学修：上顎中切歯の形態的学的特徴を把握してくること。 事後学修：		30	0	佐々木 聡	
7	(歯牙デッサン演習) 右側上顎犬歯のデッサン				事前学修：上顎犬歯の形態的学的特徴を把握してくること 事後学修：		30	0	佐々木 聡	
8	(歯牙デッサン演習) 右側上顎第一小白歯のデッサン				事前学修：上顎第一小白歯の形態的学的特徴を把握してくること。 事後学修：		30	0	佐々木 聡	
9	(歯牙デッサン演習) 右側上顎第一大臼歯のデッサン				事前学修：上顎第一大臼歯の形態的学的特徴を把握してくること。 事後学修：		30	0	佐々木 聡	
10	(歯牙デッサン演習) 右側下顎第一大臼歯のデッサン				事前学修：下顎第一大臼歯の形態的学的特徴を把握してくること。 事後学修：		30	0	佐々木 聡	
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード (グループワーク)									
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献	適宜、プリントを配布する。									
備考	1～5回は1クラス (グループワーク) で、6～10回は2クラスに分かれて授業を行う。小テストは山口担当分は筆記形式と歯牙鑑別を行う。評価は採点し次回総括する。 授業内課題は歯牙デッサン演習で毎回歯牙スケッチを提出し、それを評価とする。デッサンは評価後に返却してフィードバックする。									
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										
【佐々木】担当教員は歯科技工分野で31年の実務経験と、歯科技工士資格)を有しており、その経験を活かした実践的な授業を行います。										

科目ナンバリング
DH-2-DHP-07

学修成果	1	2	3	4	5						
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						
		●	●								
科目名	保健指導演習 I (臨床基礎)					単位認定者	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子		評価の方法	試験 (筆記)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	試験 (実技)		10 %	
					授業形態	演習	授業時間数			30 時間	授業内課題
						授業回数	15 回			受講態度	
授業の概要	歯科保健指導において、対象者の健康を保持・増進するために必要なセルフケア用口腔清掃用具の種類と使用目的について学ぶ。プラークコントロールを中心とした各種ブラッシング方法を理解し、演習を通して基礎的な歯科保健指導技術の修得を目指す。										
到達目標	1. 自身及び相互演習を通して、口腔内の状態を客観的に把握できる。 2. 各種口腔清掃用具・歯磨剤の特徴を理解し、適切に使用・説明できる。 3. 歯科衛生ケアプロセスの概念を理解し、基礎的な歯科保健指導を実践・振り返ることができる。										
学修者への期待等	1. 身だしなみをきちんと整え、教科書等の忘れ物がないように授業に臨むこと。 2. 欠席・欠課をしないよう意欲的に授業に取り組むこと。										
回	授業計画・学修の主題			準備学修			事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員		
1	自分自身の口腔内観察・100%磨き			事前学修：『歯科予防処置論・歯科保健指導論』P252表III-4-7を参照し、自分の口腔内の、口腔清掃困難および清掃不良につながる口腔環境を考察し、授業に臨むこと。(20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子		
2	フロッシング演習			事前学修：『歯科予防処置論・歯科保健指導論』P251～デンタルフロスについて事前に読んで授業に臨むこと。(20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子		
3	歯間ブラシ・タフトブラシ検討演習			事前学修：『歯科予防処置論・歯科保健指導論』P253～の歯間ブラシ、タフトブラシについて事前に読んで授業に臨むこと。(20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子		
4	歯磨剤検討演習			事前学修：『歯科予防処置論・歯科保健指導論』P250表III-4-6を参照し、自分の普段使用している歯磨剤の成分を調べ、授業に臨むこと。(20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子		
5	PCR測定演習 相互演習(1)／患者1人目			事前学修：『歯科予防処置論・歯科保健指導論』P126～⑧分析のためのデータについて事前に読んで授業に臨むこと。(20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 三浦 悦子		
6	PCR測定演習 相互演習(2)／患者2人目			事前学修：シラバス5回目の演習記録および授業資料を読んで授業に臨むこと。(20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 三浦 悦子		
7	PCR測定演習 相互演習(3)／患者3人目			事前学修：シラバス5回目の演習記録および授業資料を読んで授業に臨むこと。(20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 三浦 悦子		
8	各種口腔清掃用具による術者磨き 相互演習(1)／患者1人目			事前学修：シラバス1・2・3回目の演習記録および授業資料を読んで授業に臨むこと。(20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 三浦 悦子		
9	各種口腔清掃用具による術者磨き 相互演習(2)／患者2人目			事前学修：シラバス1・2・3回目の演習記録および授業資料を読んで授業に臨むこと。(20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 三浦 悦子		
10	各種口腔清掃用具による術者磨き 相互演習(3)／患者3人目			事前学修：シラバス1・2・3回目の演習記録および授業資料を読んで授業に臨むこと。(20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 三浦 悦子		

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
11	客観的臨床能力判断(実技試験)概要説明	事前学修：1年次に学習した内容を復習し臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
12	客観的臨床能力判断(実技試験)①	事前学修：1年次に学習した内容を復習し臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 三浦 悦子
13	客観的臨床能力判断(実技試験)②	事前学修：1年次に学習した内容を復習し臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 三浦 悦子
14	歯科衛生ケアプロセスの概念・概要①	事前学修：歯科衛生ケアプロセス実践ガイド PrologueおよびI編歯科衛生ケアプロセスの概要P6～P17を読んで授業に臨むこと。 (概ね20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出すること。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
15	歯科衛生ケアプロセスの概念・概要②	事前学修：歯科衛生ケアプロセス実践ガイド PrologueおよびI編歯科衛生ケアプロセスの概要P6～P17を読んで授業に臨むこと。 (概ね20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出すること。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（基礎演習、検討演習、相互演習）				
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版』全国士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社 『歯科衛生ケアプロセス実践ガイド』佐藤 陽子 齋藤淳編著 医歯薬出版株式会社				
参考文献	授業内で適宜紹介する。				
備考	シラバス1～10・12・13回目は、 クラス別 に8階歯科実習室(シラバス12・13回目は2コマ続き)。シラバス11・14・15回目は、合同講義（教室）				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
担当教員は歯科医院で5年以上の実務経験と歯科衛生士資格を有しており、その経験を活かした授業を展開します。また、学生が歯科保健指導業務について理解を深め、臨床現場に繋げることができるような実践的な授業を行います。

科目ナンバリング
DH-2-DHP-12

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
	●				

科目名	歯科診療補助法（基礎知識）				単位 認定者	花渕 静 西條 佳奈		評価の 方法	筆記試験	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	20 %
					授業形態	講義	授業時間数		40 時間	
							授業回数	20 回		
授業の概要	歯科衛生士が行う歯科診療補助業務の法的な変化および業務の専門性について理解する。 また、歯科診療補助のみならず歯科衛生士の活動に関わる医療安全と感染予防の基礎知識を学び実践できる能力を身につける。さらに、歯科衛生士が取り扱う歯科材料、歯科機器の種類、目的、用途ならびに歯科理工学的特性について理解する。									
到達目標	① 歯科診療補助の目的および歯科衛生士の業務範囲について説明できる。 ② 歯科診療室の環境・設備（診療台周辺、器材配置、清潔・不潔区域）について説明できる。 ③ バキュームおよびスリーウェイシリンジを用いた基本的操作を適切に行うことができる。 ④ 歯科診療補助における基本的な共同動作を実施できる。 ⑤ 各種歯科材料を特性に配慮しながら適切に取り扱うことができる。 ⑥ 患者の立場に配慮した言葉遣い・態度で基本的な患者対応を行うことができる。 ⑦ 感染防止に留意し、安全な歯科診療補助を行おうとする姿勢を示すことができる。									
学修者への期待等	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に臨んで欲しい。 ・各授業の前には授業計画を確認し、教科書などに目を通してから授業に臨んで欲しい。 ・演習を行う際には身だしなみをきちんと整え、教科書等忘れ物をしないようにして欲しい。 									
回	授業計画・学修の主題				準備学修			事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	歯科診療補助の概念／歯科診療室の基礎知識				事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 I 編第1章歯科診療補助の概念および第3章①歯科診療室の基礎知識を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習を行うこと。			30	30	西條 佳奈
2	歯科材料・歯科機器の種類と特性				事前学修：『歯科材料』 vii 執筆の序、 I 編第1章歯科材料と歯科衛生士および2章歯科材料の基礎知識『歯科機器』 vii 執筆の序、第1章および第2章①歯科用ユニット、④滅菌・消毒用機器、第4章④歯および口腔検査用機器を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習を行うこと。			30	30	西條 佳奈
3	医療従事者としての身だしなみについて（グループワーク）／清潔・不潔の概念について				事前学修：医療従事者としての身だしなみが重要視される理由は何かを考察しておくこと。清潔・不潔の概念について調べておくこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習を行うこと。			30	30	西條 佳奈
4	歯科診療所における患者対応の基本／共同動作 基礎演習				事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 I 編第4章①共同動作を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習を行うこと。			30	30	花渕 静 西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子
5	バキューム・スリーウェイシリンジテクニック マネキン演習				事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 I 編第4章①-6. バキュームテクニック、7. スリーウェイシリンジテクニックを読み授業に臨むこと。また、シラバス第4回の授業資料および実習記録を確認しておくこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習を行うこと。			30	30	花渕 静 西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
6	共同動作（患者誘導～口腔内洗浄） 相互演習（1） （演習手順説明／術者1人目）	事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 I編第3章②-歯科診療所における受診 の流れ、第4章③-6. パキュームテ クニック、7. スリーウェイシリンジテ クニックを読み授業に臨むこと。また、 シラバス第4・5回の授業資料および実 習記録を確認しておくこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静 西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子
7	共同動作（患者誘導～口腔内洗浄） 相互演習（2） （術者2人目、3人目／演習まとめ）				
8	合着材の基礎知識／基礎演習	事前学修：『歯科材料』Ⅱ編第4章①は じめに、②合着材の種類と用途、『歯 科診療補助論 第2版』I編7章③合着・ 接着の補助を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子
9	合着・接着の補助（各種合着材練和演習）	事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 I編第7章③合着・接着の補助を読み授 業に臨むこと。また、シラバス第8回 の授業資料および実習記録を確認して おくこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子
10	各種印象材の基礎知識	事前学修：『歯科材料』Ⅱ編第2章印象 材を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静
11	アルジネート印象材の基礎知識／練和演習	事前学修：『歯科材料』Ⅱ編第2章③- 1. アルジネート印象材、『歯科診療補 助論 第2版』I編第7章①-2. アルジ ネート印象材による概形印象採得を読 み授業に臨むこと。また、シラバス第 10回の授業資料および実習記録を確 認しておくこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静 三浦 悦子 宍戸 敦子
12	アルジネート印象材による概形印象採得 マネキン演習	事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 I編第7章①-2. アルジネート印象材に よる概形印象採得を読み授業に臨むこ と。また、シラバス第11回の授業資料 および実習記録を確認しておくこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静 三浦 悦子 宍戸 敦子
13	アルジネート印象材による概形印象採得 相互演習（1） （演習手順説明／術者1人目）	事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 I編第7章①-2. アルジネート印象材の 概形印象採得を読み授業に臨むこと。 また、シラバス第11・12回の授業資料 および実習記録を確認しておくこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静 三浦 悦子 宍戸 敦子
14	アルジネート印象材による概形印象採得 相互演習（2） （術者2人目、術者3人目／演習まとめ）				
15	暫間修復材の基礎知識／基礎演習	事前学修：『歯科材料』Ⅱ編第7章暫間 修復材と仮着セメントを読み授業に 臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静
16	口腔内写真撮影の基礎知識／基礎演習	事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 I編第3章⑤-2. 口腔内写真撮影、『歯 科予防処置論・歯科保健指導論 第2 版』Ⅲ編第2章⑧-2. 写真・画像を読 み授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
17	暫間修復物(既製冠/印象法)作製演習 /口腔内写真撮影(5枚法)相互演習(1) (演習手順説明/術者1人目)	事前学修:『歯科材料』Ⅱ編第7章暫間 修復材と仮着用セメント、『歯科診療 補助論 第2版』Ⅰ編第3章⑤-2.口腔内 写真撮影、『歯科予防処置論・歯科保 健指導論 第2版』Ⅲ編第2章⑧-2.写 真・画像を読み授業に臨むこと。ま た、シラバス15・16回の授業資料およ び実習記録を確認しておくこと。 事後学修:授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静 西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子
18	暫間修復物(既製冠/印象法)作製演習 /口腔内写真撮影(5枚法)相互演習(2) (術者2人目)	事前学修:『歯科材料』Ⅱ編第7章暫間 修復材と仮着用セメント、『歯科診療 補助論 第2版』Ⅰ編第3章⑤-2.口腔内 写真撮影、『歯科予防処置論・歯科保 健指導論 第2版』Ⅲ編第2章⑧-2.写 真・画像を読み授業に臨むこと。ま た、シラバス15・16回の授業資料およ び実習記録を確認しておくこと。 事後学修:授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静 西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子
19	暫間修復物(既製冠/印象法)作製演習 /口腔内写真撮影(5枚法)相互演習(3) (術者3人目)	事前学修:『歯科材料』Ⅱ編第7章暫間 修復材と仮着用セメント、『歯科診療 補助論 第2版』Ⅰ編第3章⑤-2.口腔内 写真撮影、『歯科予防処置論・歯科保 健指導論 第2版』Ⅲ編第2章⑧-2.写 真・画像を読み授業に臨むこと。ま た、シラバス15・16回の授業資料およ び実習記録を確認しておくこと。 事後学修:授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静 西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子
20	暫間修復物(既製冠/印象法)作製演習 /口腔内写真撮影(5枚法)相互演習(4) (演習まとめ)	事前学修:『歯科材料』Ⅱ編第7章暫間 修復材と仮着用セメント、『歯科診療 補助論 第2版』Ⅰ編第3章⑤-2.口腔内 写真撮影、『歯科予防処置論・歯科保 健指導論 第2版』Ⅲ編第2章⑧-2.写 真・画像を読み授業に臨むこと。ま た、シラバス15・16回の授業資料およ び実習記録を確認しておくこと。 事後学修:授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静 西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子
アクティブ・ ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり:キーワード(グループワーク、基礎演習、練和演習、作製演習、マネキン演習、相互演習)				
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科材料』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科機器』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社				
参考文献	授業の中で適宜紹介する。				
備考	1・2・10回目は教室で合同授業を行う。3~7回、11~20回目は8階実習室、8・9回目は新演習室にてクラス別に講義・演習を行う。6・7回、13・14回、17・18回、19・20回目は連続で演習を行う。なお、授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。 授業内で配布する実習記録については、授業終了後回収し添削後返却する。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

担当教員は歯科医院で5年以上の実務経験と、歯科衛生士資格を有しており、その経験を活かして学生が歯科診療業務について理解を深め、臨床現場に繋げることができるような実践的な授業を行います。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-0-HSC-03				
	●									
科目名	保健統計学				単位 認定者	伊藤 恵美		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の 方法	受講態度	10 %
					授業形態	講義	授業時間数		16 時間	授業内課題 (小テスト等)
				授業回数		8 回				
授業の概要	社会生活をしていく上で必要な基本的な法律について学修する。特に日常の社会生活・大学生活に関係の深い様々な問題を取り上げて、問題点、解決方法、回避方法など、具体的な事例を通じて理解し身につけていく。									
到達目標	1. 保健統計の種類と意義を学修し、わが国の保健統計の変遷及び現状等について理解を深める。 2. 医療の現場で得られる様々なデータを視覚的、数量的にまとめ、有用な情報を抽出するための方法を理解する。									
学修者への期待等	医療の現場における口腔の状況を数量化し、疾病や口腔状態を数量化や指数により数字に置き換えて現状把握や評価できることを期待しています。興味を持って学修してください。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修			事前学 修時間 (分)	事後学 修時間 (分)	
1	保健情報と保健統計、国家統計調査、保健情報と疫学				事前学修：教本P1～35を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
2	保健情報の分析手順（保健情報の収集、調査、母集団と標本抽出）				事前学修：教本P73～88を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
3	保健統計の方法（データの特性、記述統計、推定と信頼区間、保健情報の多変量解析）				事前学修：教本P89～113を読んで授業に臨むこと。 事後学修：次回授業時、保健統計に関する小テストを行う予定。			30	30	
4	保健情報の分析演習（解析と検定の演習） 小テスト				事前学修：教本P114～136ページを読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
5	歯科疾患の指数①数量化と指数②う蝕の指数 計算演習				事前学修：教本P36～44を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
6	歯科疾患の指数③歯周疾患の指数 計算演習 グループワーク				事前学修：教本P45～54を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
7	歯科疾患の指数④口腔清掃状態の指数 計算演習				事前学修：教本P54～60を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
8	歯科疾患の指数⑤不正咬合と歯列不正の指数、⑥歯のフッ素症指数、⑦その他の歯科保健指数 計算演習				事前学修：教本P60～71を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ 演習、グループワーク ）									
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献	なし									
備考	小テスト課題は回収後、採点し、次回総括する。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-15				
	●									
科目名	地域保健				単位認定者	大森俊也 石河理紗		試験(筆記)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	10 %
						授業時間数	30 時間		授業内課題(小テスト等)	10 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	人々の健康に関わる地域の役割を学び、地域保健を担う組織の仕組みと特徴を理解する。また、集団を対象とした疾病予防と健康増進に関わる地域保健活動において歯科衛生士の役割を理解する。保健統計では、歯科臨床や保健情報のデータから、統計学的な解析を行う方法を身につける。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の歯と口腔の健康づくりを支援するための基礎と方策について理解する。 ・一人ひとりの生活行動が身近な地域福祉活動に結びつくものであること、また、一人ひとりが社会資源として地域福祉のネットワークに参画する必要性について理解する。 ・保健統計とは、健康増進、疾病予防、医療等人の健康に関する統計のことを指す。本科目では、保健統計の種類と意義を学修し、わが国の保健統計の変遷及び現状等について理解を深める。さらに医療の現場で得られる様々なデータは、そのままでは理解することが難しい場合も多い。そうしたデータを視覚的、数量的にまとめ、有用な情報を抽出するための方法を理解する。 									
学修者への期待等	地域福祉について、口腔の健康に及ぼす要因も含めて理解する。基本的な統計学的手法について理解する。授業終了後に重要項目をまとめた小テストを実施するので、その内容については次回までに復習することが望ましい。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	担当教員	
1	遠隔【オンデマンド】 地域保健・公衆衛生① 生活と健康、地域社会と保健対策の基本的な考え方を学び、時代の変化に伴う地域保健活動の変化から、今日の現状を概説する。				事前学修：教科書のⅢ編1章①～④を読む		15	0	石河 理紗	
2	遠隔【オンデマンド】 地域保健・公衆衛生② 健康づくり対策と地域歯科保健について説明する。				事前学修：教科書のⅢ編1章⑤～を読む		15	0	石河 理紗	
3	遠隔【オンデマンド】 母子保健 母子健康手帳に記載された口腔関連質問項目や妊産婦への歯科保健指導の要点について学ぶ。また1歳6カ月児、3歳児健康診断の目的、う蝕罹患型の分類、歯科保健指導の要点等を学習する。				事前学修：教科書のⅢ編2章を読む		15	0	石河 理紗	
4	遠隔【オンデマンド】 学校保健 学校保健の対象者とその意義、関係職員について学ぶ。また保健教育と保健管理の概要を理解する。学校歯科健康診断について診査の項目や記載事項、事後措置を学ぶ。				事前学修：教科書のⅢ編3章を読む		15	0	石河 理紗	
5	遠隔【オンデマンド】 成人保健・高齢者保健 成人保健として生活習慣病のリスクファクターと成人期の口腔保健管理について学ぶ。また、高齢者保健として高齢者の保健対策や介護保険、地域支援事業について理解する。				事前学修：教科書のⅢ編4章、6章を読む		15	0	石河 理紗	
6	遠隔【オンデマンド】 産業保健 産業保健の目的、関連法規について学び、職業性疾患の要因と歯科を含む特殊健康診断について理解する。また安全衛生管理について学習する。				事前学修：教科書のⅢ編5章を読む		15	0	石河 理紗	
7	遠隔【オンデマンド】 精神保健 精神保健の定義、意義を学び、精神保健福祉行政や精神医療の現状と課題について理解する。また精神障害者の社会復帰と歯科保健の問題を考える。				事前学修：教科書のⅢ編7章を読む		15	0	石河 理紗	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	担当教員
8	遠隔【オンデマンド】 災害時歯科保健、国際保健 日常的災害対策や災害時の保健医療について学び、災害時の歯科保健、歯科の役割について理解する。また世界的な健康水準や保健医療水準、国際協力に関わる機関やその活動について学ぶ。	事前学修：教科書のⅢ編8～9章を読む	15	0	石河 理紗
9	遠隔【オンデマンド】 まとめ これまでの授業内容について総括する	事前学修：これまでの講義資料を読む	30	0	石河 理紗
10	「地域福祉」の理解 ① ・少子化、超高齢化、多死という人口減少社会の問題と経済の縮小による財政逼迫の社会の到来は、他人ごとではなく、「自分ごと」として受け留めていかなければならない背景について学ぶ。 ・地域コミュニティの問題、課題への気づきと理解を深める。	事前学修：テキスト精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
11	「地域福祉」の理解 ② ・社会福祉法から社会福祉と地域福祉の推進について解説する。 ・ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、アドボカシー、ボランティア、協働・パートナーシップ、エンパワメント等地域福祉の理念について理解を深める。	事前学修：テキスト精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
12	「地域福祉」の理解 ③ ②に引続き、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、アドボカシー、ボランティア、協働・パートナーシップ、エンパワメント等地域福祉の理念について理解を深める。	事前学修：資料精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
13	「地域福祉」の理解 ④ 地域に起こる様々な問題の中から認知症高齢種や災害時弱者等の保護、児童虐待の通告、児童相談所の役割を理解する。	事前学修：テキスト精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
14	「地域福祉」の理解 ⑤ 地域福祉の推進における民生・児童委員の役割を理解する。子供の貧困とヤングケアラー、子育て支援について学ぶ。	事前学修：テキスト精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
15	「地域福祉」の理解 ⑥ ・現状の地域福祉計画、地域支援計画及び「2040年問題」について解説する。 ・サービス削減の「国民的合意形成」について理解を深め、地域福祉活動参加への醸成を図る。	事前学修：前回資料精読 事後学修：全回を振り返る	30	30	大森 俊也
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）				
教科書	『最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社				
参考文献	なし				
備考	対面またはオンデマンド授業で実施する。小テスト課題は回収後、採点し、次回総括する。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

当教員は、在宅福祉に20年の相談実務経験があり、家族の会や行政と協働して認知症デイケアを開設。家族の介護負担軽減を図るとともに、本人擁護のための認知症徘徊搜索システムを協働開発しました。2000年新設の老健施設に歯科衛生士を採用し口腔ケア体制(診療ユニット室)創設し、退所後の在宅でも老健機能を楽しむ訪問介護・看護事業を展開するなど25年の経営実務経験があります。地域の課題や問題から地域福祉を構成する理論や理念等を容易に説明します。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-11				
	●									
科目名	歯科放射線学				単位認定者	飯久保 正弘 西條 佳奈		試験 (筆記)	90 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	10 %
					授業形態	講義	授業時間数		20 時間	
				授業回数		10 回				
授業の概要	エックス線の性質を理解し、歯科医療における正しいエックス線の利用法と歯科衛生士が果たす役割を認識する。エックス線診断の基本を学び、基本的な病態診断の技術を習得するとともに、放射線の生理学的影響やエックス線の性質、撮影法について、理解を深める。									
到達目標	エックス線の性質を理解し、歯科医療における正しいエックス線の利用法と歯科衛生士が果たすべき役割を認識する。エックス線診断の基本を理解し、基本的な病態診断の技術を修得する。									
学修者への期待等	欠席せずに意欲を持って臨み、予習・復習をしっかりと行ってほしい。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	遠隔【オンデマンド】 エックス線の基礎知識（講義）、エックス線写真の成立、写真処理				事前学修：予習として「放射線」という言葉の意味を調べておく。		30	0	飯久保 正弘	
2	遠隔【オンデマンド】 歯科用エックス線撮影法(1)口内法				事前学修：前回の内容を復習して授業に臨むこと。		30	0	飯久保 正弘	
3	歯科用エックス線撮影法(2)口外法とX線写真の読み方				事前学修：予習として放射線が人体に与える影響を調べておく。		30	0	飯久保 正弘	
4	歯放射線防護（講義） 放射線被曝、放射線の生体に対する作用、組織の放射線感受性、放射線障害				事前学修：前回の内容を復習して授業に臨むこと。		30	0	飯久保 正弘	
5	歯科用エックス線撮影法(3)パノラマ撮影法				事前学修：前回の内容を復習して授業に臨むこと。		30	0	飯久保 正弘	
6	その他の画像診断（CT、MRI、超音波）と放射線治療				事前学修：前回の内容を復習して授業に臨むこと。		30	0	飯久保 正弘	
7	歯科用エックス線写真撮影における歯科衛生士の役割/ 歯科用エックス線写真撮影における歯科診療補助（平行法・二等分法）相互演習				事前学修：2回目の授業内容について復習をして授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習すること。		30	30	西條 佳奈	
8	歯科用エックス線写真撮影における歯科診療補助（パノラマエックス線写真）相互演習/歯科用エックス線写真の読影（う蝕）グループワーク				事前学修：5回目の授業内容について復習をして授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習すること。		30	30	山口 恵 西條 佳奈	
9	歯科用エックス線写真撮影における歯科診療補助（咬翼法・咬合法）相互演習/歯科用エックス線写真の読影（歯周病）グループワーク				事前学修：2回目の授業内容について復習をして授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習すること。		30	30	西條 佳奈	
10	歯科用エックス線写真撮影における歯科診療補助（インジケータを使用した二等分法）相互演習/ 歯科用エックス線写真の読影（その他の歯科疾患）グループワーク				事前学修：7回目の授業内容について復習をして授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習すること。		30	30	山口 恵 西條 佳奈	
アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（相互演習・グループワーク）									
教科書	『歯科衛生士テキスト わかりやすい歯科放射線学 第3版』飯久保正弘ほか著、株式会社学建書院									
参考文献	なし									
備考	1～6回目については、教室にて合同授業を実施する。7～10回目についてはクラス別での演習とし、実施する教室は授業前に周知を行う。また7～10回目の実習記録は、授業終了後に回収し、添削後返却する。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

飯久保：28年前より教職に従事し、日本歯科放射線学会の指導医、専門医を有している。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-08				
	●									
科目名	小児歯科学				単位認定者	丸谷 由里子		試験(筆記)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態		講義		授業時間数	30 時間
							授業回数			15 回
授業の概要	口腔疾患の発病、進行時期として重要な小児期における歯科衛生士の役割を理解するとともに、臨床の場で対応できるような能力の基礎を総合的に学ぶ。小児の心身の発達に伴う基本的知識や、小児の歯科疾患、予防法、診療補助等についての知識を習得する。									
到達目標	口腔疾患の発病、進行時期として重要な小児期における歯科衛生士としての役割を理解する。小児期の歯科医療について総合的に学ぶ。									
学修者への期待等	講義前後、該当箇所について教科書による予習復習を行うこと。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	遠隔【オンデマンド】 小児歯科概論 小児歯科診療と歯科衛生士の役割について 教科書Ⅰ編1章小児歯科学概論、Ⅱ編3章小児歯科における診療体系①②				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
2	心身の発育Ⅰ 発達の概念と分類、発育の評価、生理的年齢、器官の発育、精神的発達 教科書Ⅰ編2章心身の発育				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
3	心身の発育Ⅱ 小児の生理的特徴 顔面頭蓋の発育 顔面頭蓋の発育、顎の発育とその評価 教科書Ⅰ編3章小児の生理的特徴、4章顔面頭蓋の発育				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
4	遠隔【オンデマンド】 歯の発育とその異常 教科書Ⅰ編5章歯の発育とその異常				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
5	遠隔【オンデマンド】 歯列・咬合の発育と異常 教科書Ⅰ編6章歯列・咬合の発育と異常				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
6	小児の歯科疾患 う蝕Ⅰ編7章①小児にみられるう蝕				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
7	小児の歯科疾患 歯周疾患、口腔軟組織の異常 編7章②小児にみられる歯周疾患、③小児にみられる口腔軟組織の異常と疾患				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
8	小児期の特徴と歯科的問題点 教科書Ⅰ編8章小児虐待、Ⅱ編1章小児期の特徴と歯科的問題点				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
9	小児歯科診療体系 教科書Ⅱ編3章小児歯科における診療体系③④、7章歯科診療室と器材の管理				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
10	患児の対応法Ⅰ 年齢別の小児の行動とその対応、不協力的な小児の対応法 教科書Ⅱ編2章小児歯科における患者との対応法				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
11	遠隔【オンデマンド】 患児の対応法Ⅱ 障害児の歯科治療 教科書Ⅱ編4章障害児の歯科治療				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
12	遠隔【オンデマンド】 う蝕予防 教科書Ⅱ編5章う蝕予防、6章小児の口腔健康管理				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
13	小児の歯冠修復 教科書Ⅱ編3章⑤⑥小児の麻酔、歯冠修復				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
14	小児の歯内療法 教科書Ⅱ編3章⑦小児の歯内療法				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
15	小児の外科処置、外相、咬合誘導 教科書Ⅱ編3章⑧小児の外科的処置 ⑨外傷 ⑩咬合誘導				事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること				30	30
アクティブ・ラーニング	☑該当なし ☐該当あり：キーワード()									
教科書	『歯科衛生学シリーズ 小児歯科学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献	なし									
備考										

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

・担当教員は、大学病院小児歯科で歯科医師として26年にわたり小児歯科診療に従事してきた。
 [資格等] ・歯科医師免許 ・小児歯科学会専門医指導医

学修成果	1	2	3	4	5					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力					
	●	●								
科目名	歯周病予防法（臨床基礎）				単位認定者	伊藤 恵美		評価の方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	2 単位		受講態度	20 %
				授業形態	演習	授業時間数	60 時間			
				授業回数	30 回					
授業の概要	「歯科予防処置法」で修得した知識と技術をもとに、歯周組織の健康像と病的変化を把握し、歯周病予防法の専門的な知識と技術および態度を修得する。その手技として各検査法、予防的歯石除去法、歯面研磨・歯面清掃の技術について、安全で適切な操作技術を模型上および相互実習で修得する。									
到達目標	1. 口腔内の状態を観察し、必要な歯周病予防技術を選択できる 2. 歯周病予防を目的とした基本的器具操作を安全に行うことができる。 3. 安全・感染予防を意識して施術をすることができる。									
学修者への期待等	1. 身だしなみをきちんと整え、教科書等の忘れ物がないように授業に臨むこと。 2. 欠席・欠課をしないよう意欲的に臨んでほしい。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	PTC・PMTCの基礎知識／マネキン演習 エバチップの使用法、PMTC模型演習				事前学修：教科書Ⅲ編3章②- 2.PTC、PMTCを読むこと、歯面 研磨について復習しておくこと 事後学修：実習記録をまとめる こと		30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 穴戸 敦子 北村 麻衣	
2	PMTC 相互演習／プロービング、スケーリング、 歯の動揺度マネキン演習① 相互演習の手順・留意事項説明／患者1人目						30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 穴戸 敦子 北村 麻衣	
3	PMTC 相互演習／プロービング、スケーリング、 歯の動揺度マネキン演習② 患者2人目				事前学修：シラバス1回目の内容 を復習しておくこと 事後学修：実習記録をまとめる こと		30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 穴戸 敦子 北村 麻衣	
4	PMTC 相互演習／プロービング、スケーリング、 歯の動揺度マネキン演習③ 患者3人目／実習まとめ						30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 穴戸 敦子 北村 麻衣	
5	口腔内の情報収集 相互演習① (プロービング、歯の動揺度) 患者1人目、2人目				事前学修：プロービング、歯の 動揺度の内容を復習しておくこ と 事後学修：実習記録をまとめる こと		30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 三浦 悦子 北村 麻衣	
6	口腔内の情報収集 相互演習② (プロービング、歯の動揺度) 患者3人目、実習まとめ						30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 三浦 悦子 北村 麻衣	
7	歯石除去 相互演習① (スケーリング、歯面研磨) 相互演習の手順・留意事項説明、患者1人目				事前学修：スケーリング、歯面 研磨の内容を復習しておくこと 事後学修：実習記録をまとめる こと		30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 三浦 悦子 北村 麻衣	
8	歯石除去 相互演習① (スケーリング、歯面研磨) 患者2人目、患者3人目、実習まとめ						30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 三浦 悦子 北村 麻衣	
9	シャープニング（シクルスケーラー）パワースケー ラー（エアスケーラー）、歯面清掃器について クラ ス別演習				事前学修：教科書の該当ページ をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習 記録をまとめること。		30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美	
10	パワースケーラー（エアスケーラー）、歯面清掃器の 基本操作について クラス別演習				事前学修：前回の実習記録で復 習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習 記録をまとめること。		30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 穴戸 敦子 北村 麻衣	
11	パワースケーラー（エアスケーラー）、歯面清掃器の 基本操作について クラス別演習				事前学修：前回の実習記録で復 習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習 記録をまとめること。		30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 穴戸 敦子 北村 麻衣	
12	パワースケーラー（エアスケーラー）、歯面清掃器の 基本操作について クラス別演習				事前学修：前回の実習記録で復 習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習 記録をまとめること。		30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 穴戸 敦子 北村 麻衣	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
13	グレーシータイプキュレットの基本操作、エクスプローラー基本操作 講義 マネキン演習 クラス別演習	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美
14	グレーシータイプキュレットの基本操作 マネキン実習（前歯）クラス別演習	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
15	グレーシータイプキュレットの基本操作 マネキン実習（臼歯）クラス別演習	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
16	グレーシータイプキュレットの基本操作 マネキン実習（臼歯）クラス別演習、次回相互演習説明	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
17	グレーシータイプキュレットの基本操作（前歯部）（相互演習①・マネキン実習①）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
18	グレーシータイプキュレットの基本操作（前歯部）（相互演習②・マネキン演習②）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
19	グレーシータイプキュレットの基本操作（前歯部）（相互演習③・マネキン演習③）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
20	グレーシータイプキュレットの基本操作（左側臼歯部）（相互演習①・マネキン演習①）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
21	グレーシータイプキュレットの基本操作（左側臼歯部）（相互演習②・マネキン演習②）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
22	グレーシータイプキュレットの基本操作（左側臼歯部）（相互演習③・マネキン演習③）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
23	グレーシータイプキュレットの基本操作（右側臼歯部）（相互演習①・マネキン演習①）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
24	グレーシータイプキュレットの基本操作（右側臼歯部）（相互演習②・マネキン演習②）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
25	グレーシータイプキュレットの基本操作（右側臼歯部）（相互演習③・マネキン演習③）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
26	プロービング、スケーリング（超音波スケーラー）、歯面研磨 相互演習 患者1人目	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
27	プロービング、スケーリング（超音波スケーラー）、歯面研磨 相互演習 患者2人目	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
28	プロービング、スケーリング（超音波スケーラー）、歯面研磨 相互演習 患者3人目	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
29	PMTc相互演習 患者1人目、2人目 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
30	PMTc相互演習 患者3人目 グループワーク まとめ	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク、演習）				

教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生士講座 歯周病学 第6版』永末書店
参考文献	『歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社
備考	全てクラス別で授業を行う。1～12、17～30回目は8階演習室、13～16回目は7階演習室。2、3回、5、6回、7、8回、10、11回は連続で授業を行う。 授業の冒頭で目標を示し授業の最後にまとめを行う。実習レポート・課題は提出期限厳守。添削後、返却する。 授業の進捗状況により順番が前後することがある。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
歯科診療所に18年、大学病院に12年勤務し、歯周病患者の口腔管理を行ってきた経験から、歯周病における歯科衛生士の役割と手法について授業を行う。	

科目ナンバリング
DH-2-CLT-11

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
		●	●	●	

科目名	臨地実習指導（臨床応用）				単位認定者	大宮 由布子		評価の方法	レポート	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			

授業の概要 臨地実習Ⅱ（臨床応用）の事前・事後指導を行う。事前指導では臨地実習Ⅰ（臨床基礎）を踏まえ、2年生で必要となる実践力、研究力の育成を目指す。事後指導では実習の反省を踏まえ、自己の課題を見出しながら、必要となる事柄の修得のための学びを深める。

到達目標
 ①臨地実習の目的・概要および各施設の特徴、対象者について理解できる。
 ②実習に向けて必要な知識・準備を整理し、他者と協力しながら信頼関係を大切にしながら実習に臨むことができる。
 ③事前課題や実習後の振り返りを通して、自己の課題を明確にし改善できる。

学修者への期待等
 1年次の学修成果を活かし、集団指導では各実習施設や対象者の特徴を理解したうえで、実習メンバーと協力しながら、それぞれに合わせた指導内容を計画し実践できること。
 臨床では、様々な患者さんへの対応やスタッフとの連携がとれるコミュニケーション能力を身につけ、責任感を持って行動できるように、事前課題や事後の振り返りを行い、常に学ぶ姿勢を忘れずに取り組むことを期待しています。

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	相互台小学校・通町小学校 学校歯科健診・集団歯科保健指導実習の 目的および概要	事前学修：歯科衛生学シリーズ『歯科予防処 置論・歯科保健指導論』V編2章P405表V-2- 1「歯・口の健康づくりのねらいと内容 例」、P406表V-2-2「歯・口の健康づくりと 食育内容」、表V-2-3発達段階に即した歯み がき指導の重点のを読んでおくこと。 事後学修：指導案内容に沿って準備に取り組 むこと。	30	30	伊藤 明日香
2	相互台小学校・通町小学校 学校歯科健診・集団歯科保健指導実習 指導案作成 グループワーク	事前学修：1年次の歯科診療所実習について 振り返り、自身の課題を確認しておくこと。 各自の実習施設について、特徴および主な診 療内容を調べておくこと。 事後学修：目的、概要をまとめ課題に取り組 むこと。	30	30	伊藤 明日香
3	歯科診療所実習Ⅰ 目的および概要	事前学修：1年次の歯科診療所実習について 振り返り、自身の課題を確認しておくこと。 各自の実習施設について、特徴および主な診 療内容を調べておくこと。 事後学修：目的、概要をまとめ課題に取り組 むこと。	30	30	大宮 由布子
4	歯科診療所実習Ⅰ 留意事項の確認 事例検討	事前学修：前時授業内容について復習してお くこと。 事後学修：留意事項、事例について復習する こと。	30	30	大宮 由布子
5	歯科診療所実習Ⅰ 報告会①	事前学修：各自、歯科診療所実習Ⅰの振り返 りを行いプレゼンテーションの準備をしてお くこと。 事後学修：実習日誌を確認し、課題への取り 組みを行うこと。	60	30	大宮 由布子 伊藤 恵美 佐藤 陽子 花淵 静 武山 真奈美 西條 佳奈 伊藤 明日香
6	歯科診療所実習Ⅰ 報告会②	事前学修：各自、歯科診療所実習Ⅰの振り返 りを行いプレゼンテーションの準備をしてお くこと。 事後学修：実習日誌を確認し、課題への取り 組みを行うこと。	60	30	大宮 由布子 伊藤 恵美 佐藤 陽子 花淵 静 武山 真奈美 西條 佳奈 伊藤 明日香
7	保育園実習の目的および概要	事前学修：歯科衛生学シリーズ『歯科予防処 置論・歯科保健指導論』V編2章P405表V-2- 1「歯・口の健康づくりのねらいと内容 例」、P406表V-2-2「歯・口の健康づくりと 食育内容」、表V-2-3発達段階に即した歯み がき指導の重点のを読んでおくこと。 事後学修：	30	30	花淵 静 武山 真奈美
8	保育園実習 対象者の理解 保育士の立場から	事前学修：前時の実習指導内容を復習してお くこと。 事後学修：授業内容をまとめ、課題に取り組 むこと。	60	30	鈴木 享之

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
9	保育園実習 報告会 グループワーク	事前学修：グループ発表の準備をしておくこと。 事後学修：自身の課題や改善点など今後の臨床実習に活かせるように取り組むこと。	60	30	大宮 由布子 伊藤 恵美 佐藤 陽子 花淵 静 武山 真奈美 西條 佳奈 伊藤 明日香
10	保育園実習 報告会 グループワーク				
11	東北大学病院歯科部門臨床実習の目的および概要	事前学修：東北大学病院歯科部門について概要および各診療科の特徴を調べておくこと。 事後学修：目的、概要をまとめ、次回までの課題に取り組むこと。	30	30	佐藤 陽子 伊藤 恵美
12	歯科診療所実習Ⅱの目的および概要	事前学修：歯科診療所実習Ⅰを振り返り、自身の課題を確認すること。歯科診療所実習Ⅱについて、各自の臨床実習施設の特徴および主な診療内容を調べておくこと。 事後学修：目的、概要をまとめ、次回までの課題に取り組むこと。	30	30	大宮 由布子
13	東北大学病院歯科部門臨床実習・歯科医 院実習Ⅱ 留意事項および事例検討	事前学修：前時の復習と留意事項の確認、事前課題について取り組んでおくこと。 事後学修：目的、概要をまとめ、次回までの課題に取り組むこと。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子
14	東北大学病院歯科部門臨床実習 報告会	事前学修：各自、実習の振り替えりを行い発表の準備をしておくこと。 事後学修：自身の課題や改善点など今後の臨床実習に活かせるように取り組むこと。	30	30	佐藤 陽子 大宮由布子 伊藤恵美 花淵静 武山真奈美 西條佳奈 伊藤明日香
15	歯科診療所実習Ⅱ 報告会		30	30	
アクティブ・ラーニング	□該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク、プレゼンテーション）				
教科書	専門展開科目で使用する教科書				
参考文献	授業内で適宜紹介する。				
備考	授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。 シラバス1・2回、5・6回、9・10回、14・15回は連続の授業とする。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

各講師は臨床経験豊富な歯科衛生士と保育士教育において教育歴が10年以上の講師で構成され、それぞれの専門分野（感染予防、周術期、摂食嚥下、歯科保健指導、歯科診療補助、歯科予防処置、幼児とのコミュニケーションなど）に特化した内容の授業を行います。学生が臨床現場において安全・確実に実践力を身につけられるような授業を展開します。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-0-HSC-01				
	●	●								
科目名	スポーツレクリエーション				単位認定者	菅原 一昭		授業内課題	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
						授業時間数	20 時間			
				授業形態	演習	授業回数	10 回			
授業の概要	スポーツレクリエーションを通じて、集団活動での協調性、安全についての理解を深めるとともに、集団活動から全体の規律・態度を学ぶ。また、子どもから高齢者・障がい者に及ぶ幅広いライフステージでの心身の発育とその特徴を学修し、歯科保健活動の際の導入段階としてレクリエーションを楽しく活用できる能力を養う。更に、運動の楽しさや喜びを深く体験することを通して、心身ともに健康な生活が送れる習慣を身につける。									
到達目標	レクリエーション支援活動を通じて、幼児・児童、高齢者、障がい者に対する理解を深め、歯科保健活動において積極的にレクリエーション支援活動を取り入れる。また、自分自身でも生涯を通じて心身ともに健康を送れるような生活習慣が身につけること。									
学修者への期待等	幼児・児童・高齢者・障がい者に対するレクリエーション支援の方法を学習し、実践すること。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	授業ガイダンス（講義の概要・バス・体育館説明・評価方法等） レクリエーション支援に関わる諸理論 レクリエーションの意義と役割 アイスブレイキング、ホスピタリティ理論 （地下ラウンジ）				事前学修：レクリエーションとは何か。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。				30	30
2	歯科保健活動での幼児・児童に対するレクリエーション理解 身近にある知育のアイデア 知育の効果を上げるプランニング等 （地下ラウンジ）				事前学修：幼児・児童に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。				30	30
3	歯科保健活動での高齢者に対するレクリエーション理解 楽しむためのサポートポイント レクリエーション支援の組み立て方、展開方法 （地下ラウンジ）				事前学修：高齢者に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。				30	30
4	歯科保健活動での幼児・児童を対象とした計画・実施の流れ 企画書作成、グループ発表 （地下ラウンジ）				事前学修：各対象者に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。				30	30
5	高齢者に対するレクリエーション支援活動 高齢者の介護予防支援におけるスポーツレクリエーションの取り組み事例から学ぶ （体育館）				事前学修：各対象者に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。				30	30
6										
7	障がい者に対するレクリエーション支援活動 障がい者の自立支援におけるスポーツレクリエーションの				事前学修：各対象者に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。				30	30
8	取り組み事例から学ぶ （体育館）									
9	生涯に繋がるスポーツレクリエーション活動 多様なスポーツレクリエーションの実践事例から学ぶ 総括 （体育館）				事前学修：各対象者に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。				30	30
10										
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）									
教科書	なし									
参考文献	必要に応じて文献・資料を用意する。									
備考	2クラスに分かれて授業を行う。 1～4回目は、地下ラウンジにて実施。（座席については、初回時スライドに投影いたしますので、各自確認すること）。 5～10回目は、体育館にて実施。（上下運動着、上靴持参）。土足厳禁。バス内での飲食禁止。事前に着替えてくること。 授業内課題は、添削後に授業内でフィードバックを行う。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										
高等学校・専門学校教諭30年。保健体育科専修免許。福祉レクリエーション・ワーカー資格取得。										

科目ナンバリング
DH-1-DHB-12

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
	●				

科目名	一般臨床医学				単位認定者	伊藤 恵美		評価の方法	試験（筆記）	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題等	10 %
						授業時間数	20 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	10 回			
授業の概要	歯科を受診する患者の多くが生活習慣病などの何らかの疾患を持っていると考える必要がある。その対応のために、口腔内のみならず、全身管理の視点を持つ必要がある。本科目では歯科衛生士として必要な一般的な臨床医学の知識と主要な疾患の概要を理解する。									
到達目標	歯科衛生士として学ぶべき全身疾患の基礎知識を身につける。また、全身疾患がある患者さんに対しての歯科治療を行う際の注意点を学ぶ。									
学修者への期待等	多様な価値観と様々なライフステージの対象を理解するため、「人間」「環境」「健康」について知識を身につけ、人々の健康保持・増進に向けて歯科衛生士としての役割を考えてほしい。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	代謝性疾患—先天性代謝異常症、メタボリックシンドローム、糖尿病、脂質異常症、痛風など。内分泌疾患—視床下部・下垂体系、副腎疾患、甲状腺疾患など				事前学修：教科書の代謝・内分泌疾患に目を通しておくこと。		20	0	伊藤 恵美	
2	女性の体の基礎解剖・性ホルモンなどの理解				事前学修：教科書P140～148産科・婦人科疾患・妊娠の内容について予習しておくこと。		30	0	佐藤 理恵	
3	老化と加齢変化、精神・神経障害、認知症、脳血管障害、パーキンソン病など				事前学修：教科書の神経疾患、精神疾患に目を通しておくこと。		30	0	伊藤 恵美	
4	妊娠・出産・産褥の理解				事前学修：教科書P140～148産科・婦人科疾患・妊娠の内容について予習しておくこと。		30	0	佐藤 理恵	
5	アレルギー性皮膚疾患				事前学修：事前に配布される教科書の「皮膚疾患」の項に目を通すこと。		30	0	柿沼 誉	
6	皮膚感染症、皮膚腫瘍				事前学修：事前に配布される教科書の「皮膚疾患」の項に目を通すこと。		30	0	柿沼 誉	
7	子どもの成長発達・食行動の発達の理解								佐藤 幸子	
8	基本的な聴覚系・前庭系の生理解剖を学ぶ				事前学修：聴覚器の構造を把握しておくこと。		20	0	渡邊 弘人	
9	子どもの健康教育・指導に必要な基礎知識、感染症・発達障害など								佐藤 幸子	
10	聴覚系・前庭系の疾患、治療、対応を学ぶ				事前学修：自分が耳鼻咽喉科疾患になった時の症状を思い出すこと。		20	0	渡邊 弘人	
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）									
教科書	『歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック』橋本賢二・増本一真編著、医歯薬出版株式会社他に適宜プリントを配布する。									
参考文献	なし									
備考	レポート課題などが出題された場合は回収後、採点し、次回総括する。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

各講師は、専門分野における臨床経験と教育歴があり、歯科臨床において必要な全身疾患の基礎知識について授業を行います。

科目ナンバリング
DH-2-DHP-05

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
		●			

科目名	歯周病予防法（臨床応用）				単位 認定者	伊藤 恵美		評価の 方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3年	開講時期	通年	単位数	2 単位		受講態度	20 %
				授業形態	演習	授業時間数	40 時間			
						授業回数	20 回			
授業の概要	「歯科予防処置法」「歯周病予防法（臨床基礎）」で学んだ、歯周病予防法の知識・技術をもとに、歯科衛生士としての専門知識・技術を修得し、相互演習を通して実践する力と態度を学ぶ。また、歯と口腔の健康を維持・増進のために継続的なメンテナンスの必要性を理解し、歯周管理の実践の手技を修得する。									
到達目標	1. 対象者の口腔内状態や生活背景を踏まえ、歯周病予防に必要な技術を適切に選択・応用し、継続的な口腔衛生管理を実践できる能力を身につける。 2. 安全性と効果を考慮しながら施術することができる。									
学修者への期待等	1. 身だしなみをきちんと整え、教科書等の忘れ物がないように授業に臨むこと。 2. 欠席・欠課をしないよう意欲的に臨んでほしい。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	歯周治療における歯科衛生士の役割（歯周治療の流れと歯科衛生士業務）、メンテナンス、SPTの実際（歯周組織検査）、業務記録の書き方 プロービングマネキン演習				事前学修：教本Ⅱ編「③歯周病」をよく読んでおくこと。 事後学修：本日の復習を行う。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美	
2	歯周組織検査演習（患者1、2、3）グループワーク				事前学修：歯周組織検査について復習をしておくこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣	
3	歯周組織検査演習（1、3年合同演習）グループワーク 相互実習説明（流れ、記録の記入について）				事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣	
4	歯周組織検査、PTC演習（手用スケーラー、超音波スケーラー、歯面研磨）グループワーク（患者1人目）、確認染め出し				事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣	
5	歯周組織検査、PTC演習（手用スケーラー、超音波スケーラー、歯面研磨）グループワーク（患者2人目）、確認染め出し				事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣	
6	歯周組織検査、PTC演習（手用スケーラー、超音波スケーラー、歯面研磨）グループワーク（患者3人目）、確認染め出し				事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣	
7	PTC相互演習 患者1人目（上下 術者交代）クラス別演習 グループワーク				事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣	
8	PTC相互演習 患者2人目（上下 術者交代）クラス別演習 グループワーク				事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣	
9	PTC相互演習 患者3人目（上下 術者交代）クラス別演習 グループワーク				事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
10	S R P後の評価と処置 演習1 ①イリゲーション、②手用スケーラー、EPP、③超音波スケーラー クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
11	S R P後の評価と処置 演習2 ①イリゲーション、②手用スケーラー、EPP、③超音波スケーラー クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
12	S R P後の評価と処置 演習3 ①イリゲーション、②手用スケーラー、EPP、③超音波スケーラー クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
13	PTC相互演習 患者1人目 クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
14	PTC相互演習 患者2人目 クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
15	PTC相互演習 患者3人目 クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
16	PTC相互演習 患者1人目 クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
17	PTC相互演習 患者2人目 クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
18	PTC相互演習 患者3人目 クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
19	手用スケーラーの固定法（口腔外固定、保持固定） クラス別演習 グループワーク	事前学修：教本の「固定法」をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
20	手用スケーラー シャープニング クラス別演習 まとめ	事前学修：教本の「シャープニング」をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ グループワーク、演習 ）				
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生士講座 歯周病学 第5版』永末書店				
参考文献	『歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社				
備考	全てクラス別演習を行う。5、6回は連続で授業を行う。 授業の冒頭で目標を示し授業の最後にまとめを行う。演習レポート・課題は提出期限厳守。添削後、返却する。授業の進捗状況により順番が前後することがある。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

歯科診療所に18年、大学病院に12年勤務し、歯周病患者の口腔管理を行ってきた経験から、歯周病における歯科衛生士の役割と手法について授業を行う。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-09				
		●	●							
科目名	保健指導演習Ⅲ（臨床総合）				単位認定者	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		試験（筆記）	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法	試験（実技）	10 %
						授業時間数	60 時間		受講態度	10 %
				授業形態	演習	授業回数	30 回		授業内課題	10 %
授業の概要	「保健指導論」、「保健指導演習Ⅰ（臨床基礎）」、「保健指導演習Ⅱ（臨床応用）」を通して学んだ内容について、歯科衛生過程を用いて、実践する能力を身につける。									
到達目標	①歯科衛生過程（歯科衛生ケアプロセス）に基づいた思考および実践ができる。 ②各症例または事例における問題発見、解決方法を選択できる。 ③口腔健康管の意義を理解し、口腔清掃指導を実践できる。									
学修者への期待等	1年次、2年次に学んだ基礎および臨床科目の内容について、より実践的に取り組む授業です。欠席せず、予習・復習をしっかりと行い、意欲的に受講してください。									
回	授業計画・学修の主題			準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員		
1	歯科衛生過程 事例検討			事前学修：歯科衛生ケアプロセス実践ガイドⅡ編 「歯科衛生ケアプロセスを臨床に活かしてみよう」、 1年次～2年次の保健指導演習で学んだ内容を復習 して授業に臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	佐藤 陽子		
2	歯科衛生過程 事例検討（グループワーク）			事前学修：前時授業の復習とグループワークにむけ予 習をすること。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	佐藤 陽子		
3	歯科衛生過程演習Ⅰ 1・3合同実習概要説明			事前学修：前時の講義内容および歯科衛生ケアプロセ ス実践ガイドⅡ編 歯科衛生ケアプロセスを臨床に活かしてみようP2 0～82を復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	佐藤 陽子		
4	歯科衛生過程演習Ⅰ 相互演習(1)/(術者1人目)			事前学修：前時の授業内容および1・3合同実習の概 要資料を確認しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 宍戸 敦子		
5	歯科衛生過程演習Ⅰ 相互演習(2)/(術者2、3人目)			事前学修：前時の授業内容および1・3合同実習の概 要資料を確認しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 宍戸 敦子		
6	歯科衛生過程演習Ⅱ 1・3合同実習 前半 相互演習(1)/(術者1人目)			事前学修：前時の授業内容および1・3合同実習の概 要資料を確認しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 宍戸 敦子		
7	歯科衛生過程演習Ⅱ 1・3合同実習 前半 相互演習(2)/(術者2、3人目)			事前学修：前時の授業内容および1・3合同実習の概 要資料を確認しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 宍戸 敦子		
8	歯科衛生過程演習Ⅲ 1・3合同実習 後半 相互演習(1)/(術者1人目)			事前学修：歯科衛生過程演習Ⅰで実践した内容を復習 し、対象者に合わせた歯科保健指導について予習して おくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 宍戸 敦子		
9	歯科衛生過程演習Ⅲ 1・3合同実習 後半 相互演習(2)/(術者2、3人目)			事前学修：歯科衛生過程演習Ⅰで実践した内容を復習 し、対象者に合わせた歯科保健指導について予習して おくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 宍戸 敦子		
10	歯科衛生過程演習Ⅳ （口腔衛生指導の評価） プレゼンテーション演習(1)/Aグループ			事前学修：歯科衛生過程演習Ⅱで実施した内容につい てプレゼンテーションできる準備をしておくこと。 事後学修：実施した感想、改善点などを授業記録にま とめること。		60	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香		
11	歯科衛生過程演習Ⅳ （口腔衛生指導の評価） プレゼンテーション演習(2)/Bグループ			事前学修：歯科衛生過程演習Ⅱで実施した内容につい てプレゼンテーションできる準備をしておくこと。 事後学修：実施した感想、改善点などを授業記録にま とめること。		60	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香		

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
12	要介護高齢者の口腔管理 (義歯の取り扱い、スポンジブラシ)	事前学修：2年次に学んだライフステージ(要介護高齢者)について復習し、教科書Ⅲ編4章①-2 5)スポンジブラシ、7)義歯用ブラシ、4義歯洗浄剤、安定剤を読んでおくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
13	在宅訪問口腔衛生管理 (車椅子上での口腔清掃方法、清掃用具の選択他)	事前学修：2年次に学んだライフステージ(要介護高齢者)、高齢者歯科学、前時の授業について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
14	在宅訪問口腔衛生管理 相互実習	事前学修：2年次に学んだライフステージ、高齢者歯科学、前時の授業について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
15	要介護高齢者における食支援の考え方	事前学修：2年次のライフステージ、高齢者歯科学について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子
16	要介護高齢者における食支援・食介助	事前学修：前時の授業について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子
17	ライフステージ別ブラッシング指導(各種歯ブラシの特徴)	事前学修：2年次に学んだライフステージ、各種口腔清掃用具について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
18	ライフステージ別ブラッシング指導の実際	事前学修：2年次に学んだライフステージ、各種口腔清掃用具について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
19	禁煙支援 喫煙による口腔への影響について (演習)	事前学修：2年次に学んだライフステージ(成人期)について復習し、教科書Ⅲ編4章③生活習慣の指導を予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
20	口腔衛生管理 口腔清掃指数(OHI、OHI-S、PII、PHP)	事前学修：教科書Ⅲ編2章⑧分析のためのデータを読んで予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
21	洗口剤の取り扱い	事前学修：教科書Ⅲ編4章①-3。洗口剤、洗口液を予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
22	地域歯科保健活動 災害時の歯科保健 大規模災害時の保健医療対策	事前学修：教科書Ⅳ編2章③大規模災害被災者を予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子 阿部 夕
23	地域保健活動 災害時の歯科保健 グループワーク	事前学修：教科書Ⅳ編2章③大規模災害被災者を予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子 阿部 夕
24	症例検討 X線読影 グループワーク	事前学修：2年次の臨床科目(放射線学、歯周病学他)を復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子
25	歯科衛生過程演習V 客観的臨床能力の判断 概要説明	事前学修：歯科衛生過程演習について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子
26	歯科衛生過程演習V 客観的臨床能力の判断 (実技試験)①	事前学修：前時の授業内容、客観的能力試験の概要について確認しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	60	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
27	歯科衛生過程演習V 客観的臨床能力の判断 (実技試験)②	事前学修：前時の授業内容、客観的能力試験の概要について確認しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	60	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
28	口腔衛生管理 (PCR、TBI) 相互演習(1)/術者1人目	事前学修：3年間で学んだ内容を復習し、実践できるよう予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
29	口腔衛生管理 (PCR、TBI) 相互演習(2)/術者2人目	事前学修：3年間で学んだ内容を復習し、実践できるよう予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
30	口腔衛生管理 (PCR、TBI) 相互演習(3)/術者3人目	事前学修：3年間で学んだ内容を復習し、実践できる よう予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
アクティブ・ ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク、プレゼンテーション、相互演習）				
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生ケアプロセス実践ガイド』佐藤陽子 齋藤淳編著 医歯薬出版株式会社				
参考文献	授業内で適宜紹介する。				
備考	シラバス1～3, 19, 20, 24, 25は教室で合同講義、シラバス22, 23は教室で合同2限続き、シラバス4～9, 26, 27は8階演習室でクラス別2限続き、シラバス28～30回目は8階実習室でクラス別、シラバス10, 11はクラス別教室（801, 802, 704教室）、シラバス17, 18は合同で2限続き（801, 802, 7階演習室）、シラバス12, 21回目は7階演習室でクラス別、シラバス13～16は7階演習室でクラス別2限続き。授業記録、レポートおよび課題は添削後、授業内で総括する。1・3年生合同実習の回は、1年生の一部が正課外にて参加する。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
担当教員は歯科医院で5年以上の実務経験と歯科衛生士資格を有しており、その経験を活かした授業を展開します。また、学生が歯科保健指導業務について理解を深め、臨床現場に繋げることができるような実践的な授業を行います。	

科目ナンバリング
DH-2-DHP-11

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
		●			

科目名	口腔リハビリテーション演習				単位 認定者	佐藤 陽子		評価の 方法	試験 (筆記)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	10 %
						授業時間数	20 時間		授業内提出物	10 %
				授業形態	演習	授業回数	10 回			

授業の概要 摂食・嚥下のしくみとそれにかかわる障害についての歯科衛生士としての役割を理解する。摂食嚥下障害を克服する口腔リハビリテーションについて障害別に学び、ディスカッションを交えてプログラムを立案する。さらに相互演習を通じて技術の修得に努める。

到達目標 口腔リハビリテーションチームの中での歯科衛生士の役割を理解する。

学修者への期待等 口腔リハビリテーションは、患者様の健康とQOLに密接に関わる領域であり、チームの一員として患者様の食に関わります。真摯な態度で学んでいただくことを希望します。

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	摂食嚥下障害に対する訓練計画 症例検討準備	事前学修：2年時に学習した摂食嚥下に関する解剖生理について復習する。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
2	摂食嚥下障害の対応1 症例検討 他職種とのディスカッション	事前学修：症例に対する自分自身の考えをまとめておく。 事後学修：グループ発表の準備をしてください。	60	60	渡邊 弘人 佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
3	摂食嚥下障害の対応2 他職種との合同発表	事前学修：グループ発表のスライドを準備する。 事後学修：授業アンケートの記載をお願いします。	30	30	渡邊 弘人 佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
4	摂食嚥下障害とは 摂食嚥下障害の概要	事前学修：教科書Chapter摂食嚥下のメカニズム P34～55を読んでおくこと 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子
5	歯科衛生士の行う専門的な口腔ケア1 リスクマネジメント概要	事前学修：教科書Chapter7リスクマネジメントを読んでおくこと 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子
6	歯科衛生士の行う専門的な口腔ケア2 吸引器の取り扱い 相互実習	事前学修：前回の授業の内容を復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
7	歯科衛生士の行う専門的な口腔ケア3 臥床時の口腔ケア 相互実習	事前学修：前回の授業の内容を復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
8	急性期・回復期の摂食嚥下リハビリテーション「歯科衛生士の役割」	事前学修：前回の授業内容を復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	児玉 俊恵
9	摂食嚥下リハビリテーションへの取り組み（症例：小児障害児）	事前学修：教科書Chapter12歯科衛生士が行う摂食嚥下リハビリテーションの基本を読んでおくこと 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子
10	摂食嚥下リハビリテーションへの取り組み（総括）	事前学修：前回までの授業内容を復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子

アクティブ・ラーニング 該当なし
該当あり：キーワード（ディスカッション グループワーク）

教科書 「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第2版」日本歯科衛生士会監修 医歯薬出版株式会社

参考文献 講義の中で適宜紹介する

備考 シラバス1, 4, 5, 8～10回は教室で合同講義。シラバス2, 3回は言語聴覚学科「言語聴覚障害学総論」と合同授業。シラバス6, 7回は4階言語聴覚学科演習室にて実習。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

歯科診療所、行政での実務経験あり。日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士の資格を持つ教員が教授する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-RDH-01				
	●									
科目名	歯科衛生研究法 I (臨床基礎)				単位 認定者	伊藤 恵美		試験 (筆記)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の 方法	試験 (筆記)	80 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	歯科衛生の実践場面で遭遇する問題を自ら解決していくため、3年間で学んだ知識と技術を整理する。歯科衛生士として必要な総合的能力を修得することを目的とする。また、本教科では、臨床歯科につながる基礎的な知識と技術の整理も行う。									
到達目標	3年間で学んだ知識の総まとめを行う。									
学修者への期待等	教科書などによる予習・復習を行い、授業内容を十分に理解することを望む。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修			事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	遠隔【オンデマンド】 地域福祉保健 (地域保健) 1 (総論の まとめ)				事前学修:教科書の該当項目について事前に目を通すこと 事後学修:授業資料を再読すること			60	30	石河 理紗
2	遠隔【オンデマンド】 地域福祉保健 (地域保健) 2 (各論の まとめ)				事前学修:教科書の該当項目について事前に目を通すこと 事後学修:授業資料を再読すること			60	30	石河 理紗
3	歯科放射線学 1 (総論のまとめ)				事前学修:質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。			60	0	飯久保 正弘
4	歯科放射線学 2 (各論のまとめ)							0	0	飯久保 正弘
5	栄養学 1 (総論のまとめ)				事後学修:授業内で解説した演習問題の内容について復習すること			0	60	中村 吉孝
6	病理学 (まとめ)				事前学修:質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。			60	0	伊藤 恵美
7	う蝕予防法 1 (総論のまとめ)				事前学修:質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。			0	60	鷲尾 純平
8	栄養学 2 (各論のまとめ)				事後学修:授業内で解説した演習問題の内容について復習すること			0	60	中村 吉孝
9	薬理学 1 (総論のまとめ)				事前学修:質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。			60	0	北村 麻衣
10	う蝕予防法 2 (各論のまとめ)							0	0	鷲尾 純平
11	薬理学 2 (各論のまとめ)							0	0	北村 麻衣
12	社会福祉論 1 (総論のまとめ)				事前学修:関連資料を確認しておくこと。 事後学修:国家試験問題を復習しておくこと。			30	30	野口 美雪
13	口腔リハビリテーション 1 (総論のま まとめ)				事前学修:質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。 事後学修:関連国家試験の問題を解く			30	30	江畑 綾
14	社会福祉論 2 (各論のまとめ)				事前学修:関連資料を確認しておくこと。 事後学修:国家試験問題を復習しておくこと。			30	30	野口 美雪
15	口腔リハビリテーション 2 (各論のま まとめ)				事前学修:質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。 事後学修:関連国家試験の問題を解く			30	30	江畑 綾
アクティブ・ ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり:キーワード ()									
教科書	各科目教科書									
参考文献	適宜プリントを配布する。									
備考	授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

各講師は専門分野における臨床経験と教育歴があり、歯科衛生士に必要な基礎知識について総まとめの授業を行います。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-RDH-02				
	●									
科目名	歯科衛生研究法Ⅱ（臨床応用）				単位 認定者	伊藤 恵美		評価の 方法	試験 (筆記)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	歯科衛生の実践場面で遭遇する問題を自ら解決していくため、3年間で学んだ知識と技術を整理する。「歯科衛生研究法Ⅰ（臨床基礎）」で整理した、臨床歯科にかかわる基礎的な知識と技術を踏まえて、最新の臨床情報についても学習し、口腔衛生の専門職として活躍できる準備を整える。									
到達目標	3年間で学んだ知識と技術の総まとめを行い、歯科衛生士として必要な総合的能力を修得する。									
学修者への期待等	教科書などによる予習・復習を行い、授業内容を十分に理解することを望む。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修			事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	高齢者口腔保健学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。			60	0	猪狩 洋平
2	高齢者口腔保健学2（各論のまとめ）							0	0	猪狩 洋平
3	保存歯科学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。			60	0	鎌野 優弥
4	保存歯科学2（各論のまとめ）							0	0	鎌野 優弥
5	発達歯科学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。			60	0	丸谷 由里子
6	発達歯科学2（各論のまとめ）							0	0	丸谷 由里子
7	病理学（まとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。			60	0	伊藤 恵美
8	歯内療法学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。			60	0	荘司 佳奈子
9	歯内療法学2（各論のまとめ）							0	0	荘司 佳奈子
10	歯科補綴学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。			60	0	佐藤 奈央子
11	歯科補綴学2（各論のまとめ）							60	0	佐藤 奈央子
12	歯科矯正学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。			60	0	志満 雅子
13	歯科矯正学2（各論のまとめ）							0	0	志満 雅子
14	歯周療法学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。			60	0	梶川 哲宏
15	歯周療法学2（各論のまとめ）							0	0	梶川 哲宏
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）									
教科書	各科目教科書									
参考文献	適宜プリントを配布する。									
備考	授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

各講師は歯科臨床経験と教育歴があり、各専門分野における総まとめの授業を行います。